

証券コード 6859

**エスペック株式会社**  
**2023年度(2024年3月期)**  
**第3四半期決算説明**

2024年2月20日  
エスペック株式会社

# 2023年度第3四半期 決算概要

受注高は、特に国内市場のEV・バッテリー分野がけん引  
主に標準製品の部品調達が改善し大幅に増収増益、過去最高を更新

	前年同期比	予想比(2023年10月修正)
■受注高	○ すべての事業が増加、 特にサービス事業(主に受託 試験)が増加	○ 装置事業、その他事業が上回り 予想通り
■売上高	○ すべての事業が増加	○ 装置事業、サービス事業が上回り 予想通り
■営業利益	○ 販管費は増加したが 主に増収により大幅増	○ 売上高の上振れ、サービス事業の 原価率改善により上回る
■経常利益 親会社株主に帰属 する四半期純利益	○ 営業利益の増加により大幅増	○ 営業利益の増加により上回る

# 損益の状況

(百万円)

	2022年度 3Q累計実績	2023年度 3Q累計実績	前年同期比
受注高	47,153	48,190	+2.2%
売上高	35,972	42,189	+17.3%
売上原価	23,627	27,026	+14.4%
原価率	65.7%	64.1%	1.6pt改善
売上総利益	12,345	15,163	+22.8%
販管費	9,929	10,951	+10.3%
営業利益	2,416	4,211	+74.3%
経常利益	2,695	4,447	+65.0%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,708	3,085	+80.6%

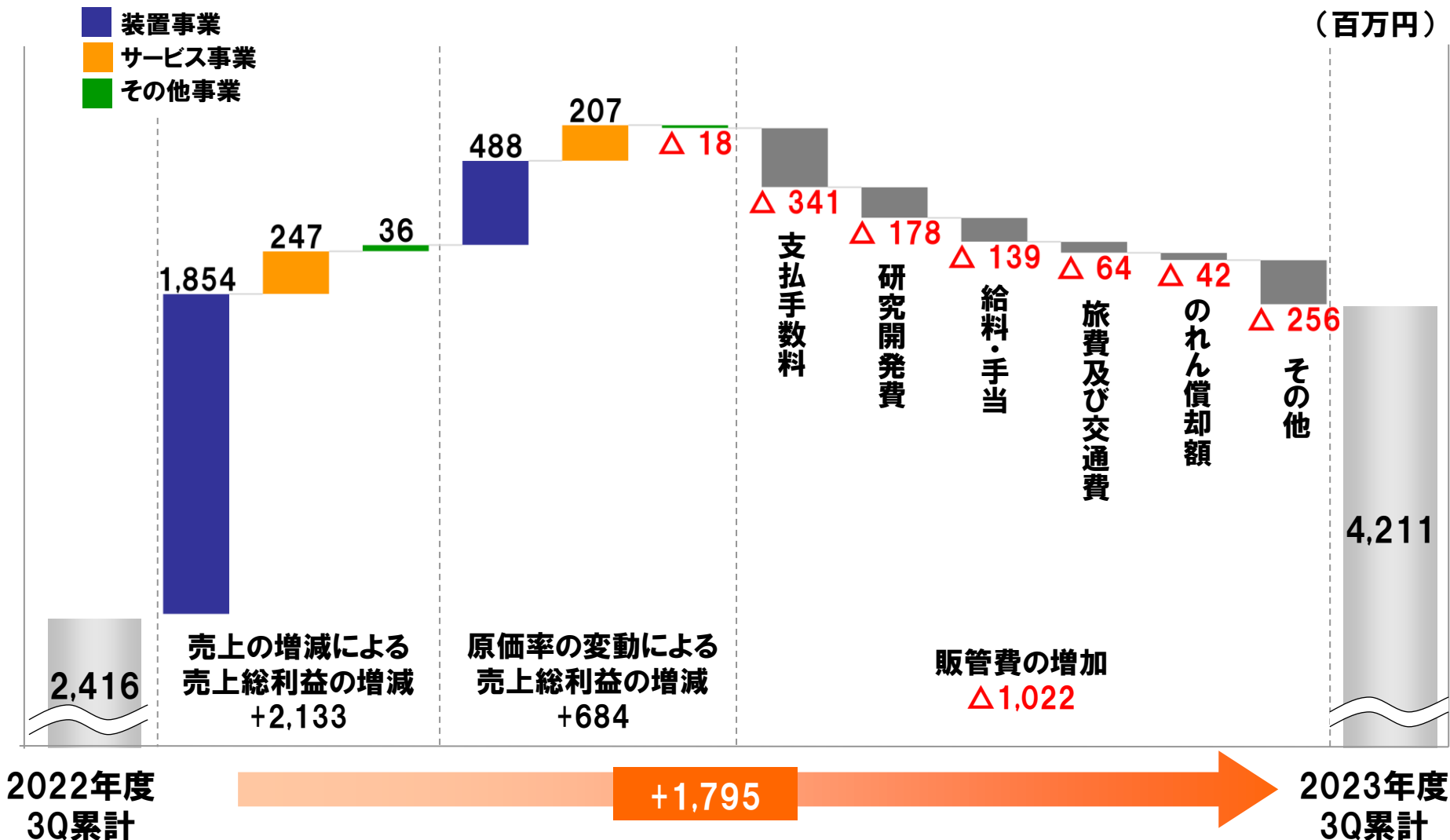
# セグメント別の損益の状況

(百万円)

		2022年度 3Q累計実績	2023年度 3Q累計実績	前年同期比
装置事業	受注高	41,031	41,586	+1.4%
	売上高	30,866	36,322	+17.7%
	営業利益	2,329	3,761	+61.5%
サービス事業	受注高	5,216	5,720	+9.6%
	売上高	4,672	5,364	+14.8%
	営業利益	185	542	+193.0%
その他事業	受注高	1,148	1,162	+1.3%
	売上高	656	793	+20.8%
	営業利益	△96	△89	-
連結消去	受注高	△243	△279	-
	売上高	△222	△290	-
	営業利益	△0	△2	-
計	受注高	47,153	48,190	+2.2%
	売上高	35,972	42,189	+17.3%
	営業利益	2,416	4,211	+74.3%

# 営業利益の増減要因分析

■ 販管費は増加したが、主に装置事業の増収効果により約18億円増加



※合計値は全体の売上総利益率を用いて算出しています。

# 装置事業セグメント

(百万円)

	2022年度 3Q累計実績	2023年度 3Q累計実績	前年同期比
受注高	41,031	41,586	+1.4%
売上高	30,866	36,322	+17.7%
営業利益	2,329	3,761	+61.5%
利益率 (%)	7.5%	10.4%	

## 環境試験器

- 国内では、受注高は前年同期比で汎用性の高い標準製品がやや減少したもののカスタム製品は自動車関連を中心に増加、売上高は標準製品・カスタム製品ともに増加
- 海外では、受注高は中国、欧州が減少し前年同期を下回ったものの売上高は北米、欧州、韓国、台湾の増加により上回る

## エナジーデバイス装置

- 受注高・売上高ともに前年同期比で大幅に増加  
EV・バッテリー向けの投資拡大により、主に国内で充放電試験用チャンバーが好調

## 半導体関連装置

- 主にメモリ関連の投資抑制の影響を受け、受注高は前年同期比で減少  
売上高は受注残高の消化により増加

# サービス事業セグメント

(百万円)

	2022年度 3Q累計実績	2023年度 3Q累計実績	前年同期比
受注高	5,216	5,720	+9.6%
売上高	4,672	5,364	+14.8%
営業利益	185	542	+193.0%
利益率 (%)	4.0%	10.1%	

## アフターサービス・エンジニアリング

- 予防保全サービス・修理サービスともに堅調に推移し、受注高は前年同期並み、売上高は増加

## 受託試験・レンタル

- 車載用バッテリーを中心に受託試験が好調に推移し、前年同期比で受注高・売上高ともに増加

# その他事業セグメント

(百万円)

	2022年度 3Q累計実績	2023年度 3Q累計実績	前年同期比
受注高	1,148	1,162	+1.3%
売上高	656	793	+20.8%
営業利益 利益率 (%)	△96 △14.7%	△89 △11.3%	-

## 環境保全・植物育成装置

- 受注高は、新たに手掛けている植物の水耕栽培と陸上養殖を組み合わせたアクアポニックスなどの受注を獲得したものの、主に森づくりが減少し前年同期並み
- 売上高は、植物研究用装置や野菜の販売が堅調に推移し増加

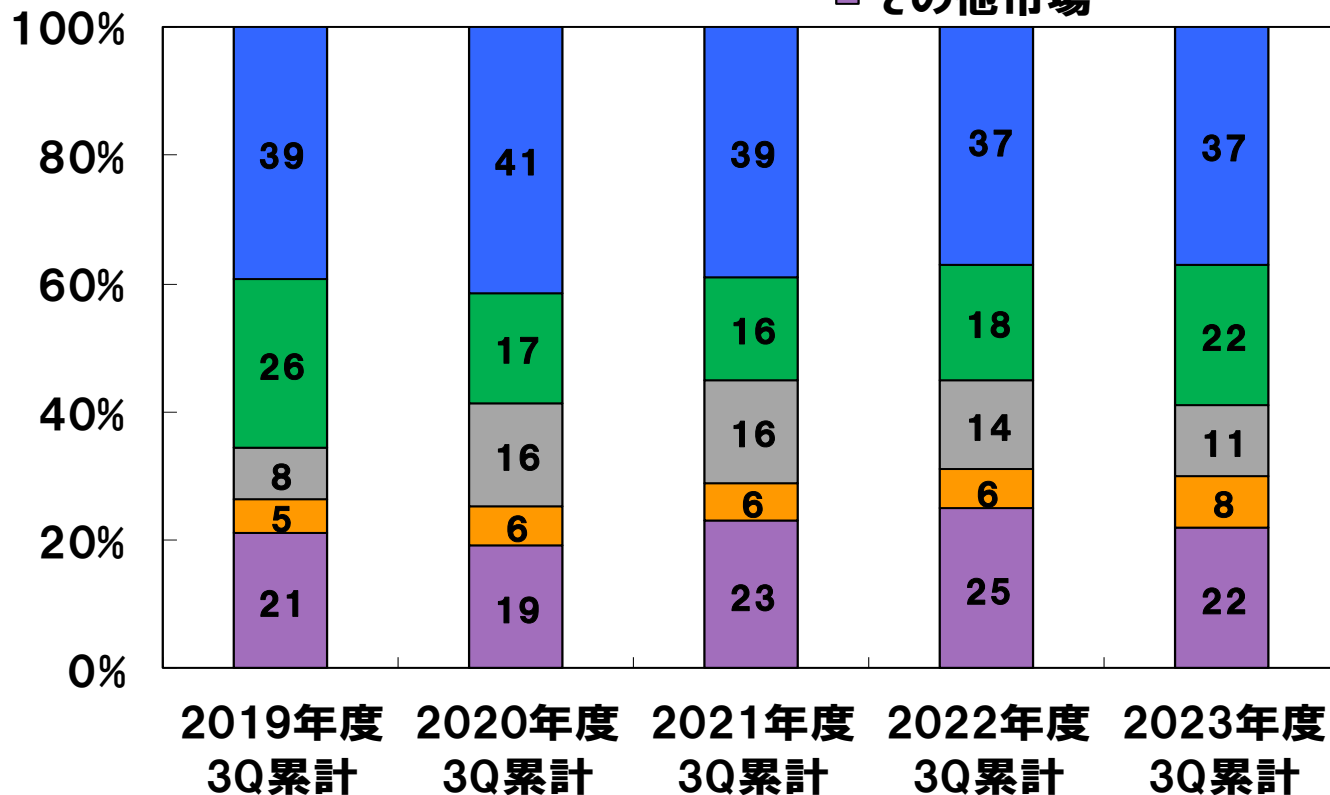


# 市場別売上構成比

■ 売上高は、電子部品・機器市場は約1.2倍、自動車はEV・バッテリーを中心に大幅に増加し約1.5倍、半導体市場は減少

単体(装置事業)

- 電子部品・電子機器市場
- 自動車市場
- 半導体市場
- 研究機関
- その他市場

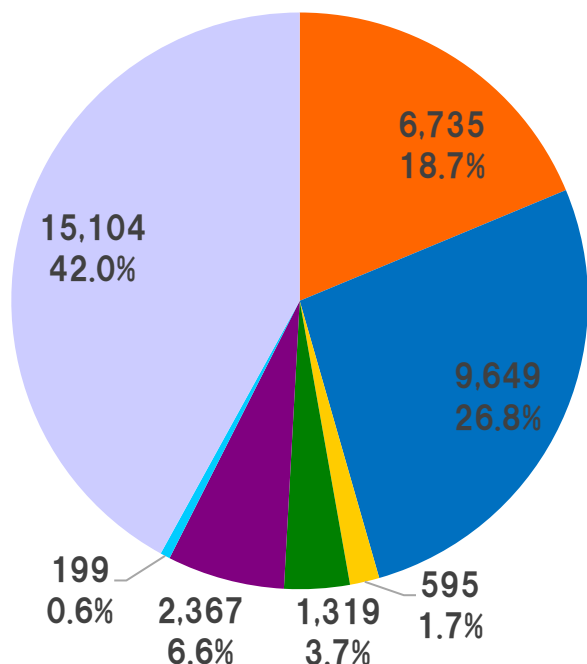


# 地域別売上構成比

■ 売上高は主に日本、北米、欧州が増加、中国は前年同期並み

2022年度3Q累計

海外売上高比率:58.0%

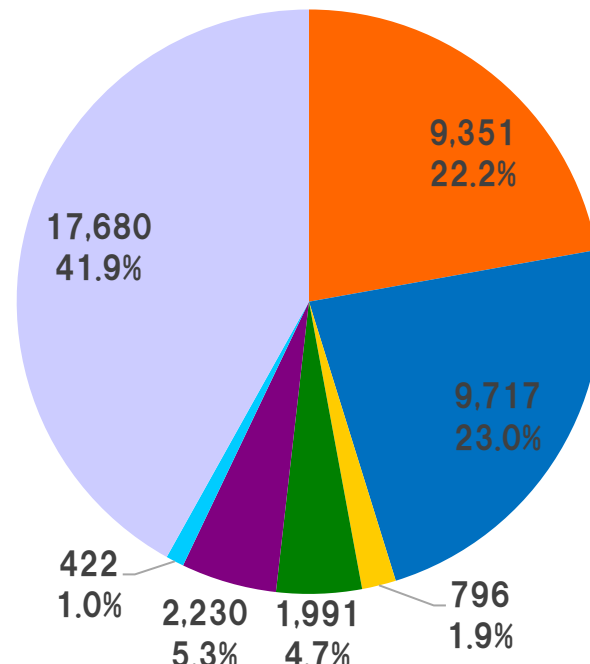


計 35,972百万円

(海外売上高:20,868百万円)

2023年度3Q累計

海外売上高比率:58.1%



計 42,189百万円

(海外売上高:24,509百万円)

# 2023年度 通期業績予想

■ 2023年度通期予想は10月27日の修正から変更なし

(百万円)

	2022年度		2023年度		
	通期実績	3Q累計実績	業績予想(10/27修正)		
			4Q	通期	前期比
受注高	59,521	48,190	12,810	61,000	+2.5%
売上高	52,892	42,189	16,311	58,500	+10.6%
売上総利益	17,957	15,163	5,337	20,500	+14.2%
利益率(%)	34.0%	35.9%	32.7%	35.0%	+1.0pt
販管費	13,590	10,951	4,049	15,000	+10.4%
販管费率(%)	25.7%	26.0%	24.8%	25.6%	△0.1pt
営業利益	4,366	4,211	1,289	5,500	+26.0%
利益率(%)	8.3%	10.0%	7.9%	9.4%	+1.1pt
経常利益	4,664	4,447	1,303	5,750	+23.3%
利益率(%)	8.8%	10.5%	8.0%	9.8%	+1.0pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,330	3,085	915	4,000	+20.1%
利益率(%)	6.3%	7.3%	5.6%	6.8%	+0.5pt
1株当たり当期純利益(円)	150.34	141.32	41.89	183.21	+21.9%

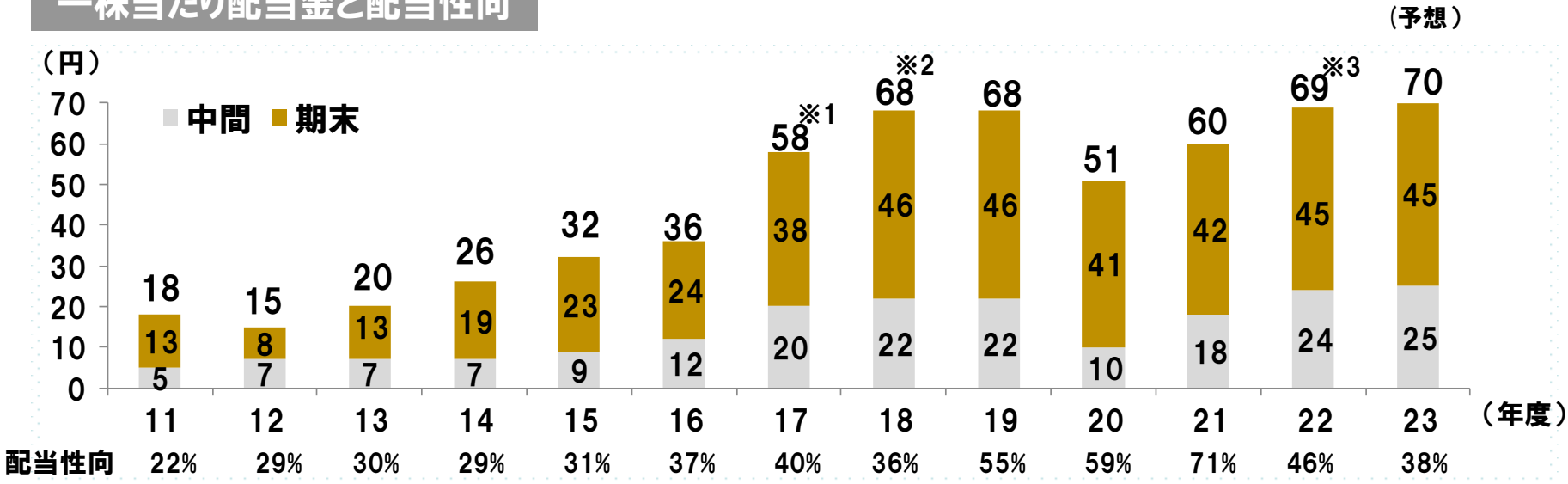
※ROE(自己資本利益率) 2023年度目標 8.1%(前期比+0.9pt)

# セグメント別の業績予想

		2022年度	2023年度 (百万円)			
		通期実績	3Q累計実績	業績予想(10/27修正)		
				4Q	通期	前期比
装置事業	受注高	51,446	41,586	11,174	52,760	+2.6%
	売上高	45,031	36,322	14,028	50,350	+11.8%
	営業利益	3,919	3,761	1,219	4,980	+27.0%
サービス事業	受注高	6,963	5,720	1,620	7,340	+5.4%
	売上高	6,788	5,364	1,886	7,250	+6.8%
	営業利益	428	542	8	550	+28.5%
その他事業	受注高	1,469	1,162	138	1,300	△11.6%
	売上高	1,404	793	507	1,300	△7.4%
	営業利益	16	△89	59	△30	-
連結消去	受注高	△359	△279	△121	△400	-
	売上高	△330	△290	△110	△400	-
	営業利益	1	△2	2	△0	-
計	受注高	59,521	48,190	12,810	61,000	+2.5%
	売上高	52,892	42,189	16,311	58,500	+10.6%
	営業利益	4,366	4,211	1,289	5,500	+26.0%

# 2023年度 配当予想

## 一株当たり配当金と配当性向



※1.2017年度は創業70周年記念配当2円(中間1円、期末1円)を含む

※2.2018年度は海外連結会社の決算期が15ヵ月間の変則決算 12ヵ月とした場合の配当性向は39%(参考値)

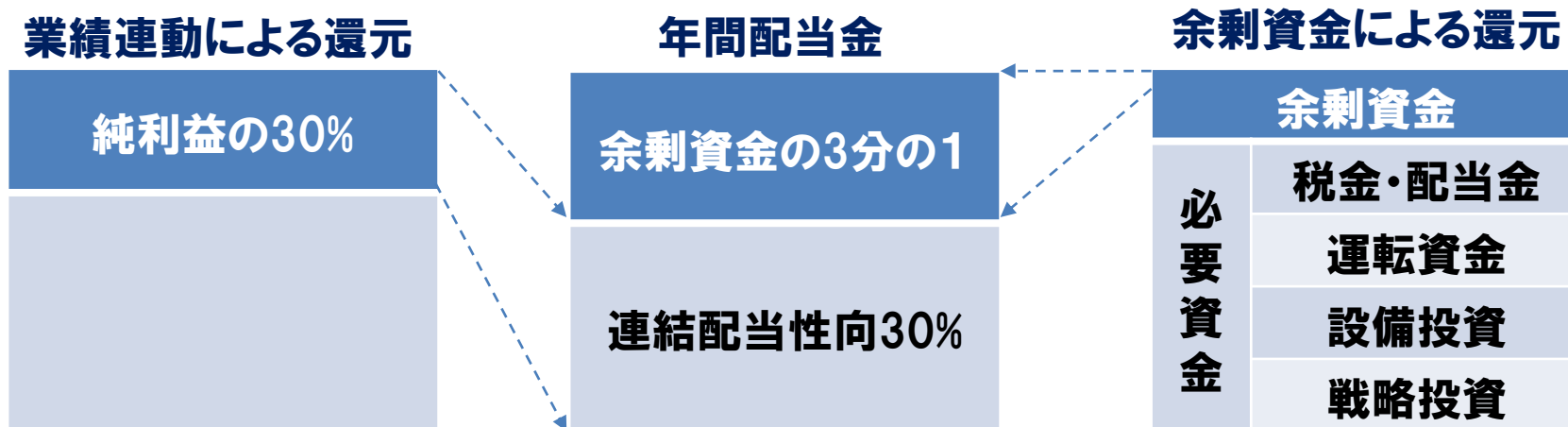
※3.2022年度は創業75周年記念配当4円(中間2円、期末2円)を含む

# 配当基本方針

継続性と連結配当性向を勘案して決定することを基本とする

配当性向30%に加え、予定必要資金の超過金額の1/3を目途に上乗せする

また、必要な内部留保の水準を考慮しつつ、自己株式取得を機動的に実施する



※安定配当として年20円の配当金を利益水準に関わらず維持するが、2期連続で最終赤字の場合は見直しを行う

# 2023年度 主な取り組み

## 装置事業

- ・収益力の向上、製品納期正常化および受注残高の早期解消
- ・グローバルに拡大するバッテリー市場への対応強化

## サービス事業

アフターサービス:「スーパーサポートプラン」による予防保全サービスの拡大  
受託試験 :自動車を中心とする先端技術分野向け試験サービスの拡充

## エリア戦略

日本:EV・自動化、IoT分野のニーズに適合した製品投入による販売拡大、買替需要の喚起  
北米:インフレ抑制法(IRA)による自動車市場の需要拡大への対応  
中国:グループ連携によるEV、IoT市場への販売拡大  
欧州:製品ラインアップ拡充による自動車およびIoT市場の開拓  
韓国:グローバル大企業への販売拡大

# 2023年度 ESGの主な取り組み

## ■E(環境)

- ・第8次環境中期計画(2022～2025年度)の推進
- ・地球温暖化対策:低GWP冷媒への置き換え  
製造など事業活動におけるCO<sub>2</sub>排出量削減
- ・生物多様性保全活動:エスペックミックスの事業による貢献  
「エスペック50年の森」運営による保全活動の推進
- ・2030年度温室効果ガス排出量削減目標SBT認定(2023年7月取得)

## ■S(社会)

- ・人的資本の強化:管理職のマネジメント力強化、人事評価制度・教育制度、  
1on1の実施、次世代幹部育成
- ・ダイバーシティの推進:女性管理職の育成、シニア社員・外国人の活躍推進

## ■G(ガバナンス)

- ・グループガバナンスの強化および内部統制システムの整備・強化



## “次世代モビリティテストラボ(仮称)” 愛知県にて新試験所の建設に着手

- 2023年8月、愛知県常滑市に土地(7,500㎡)を購入し、新試験所の建設に着手
- 大型化・高容量化が進む最先端の車載用バッテリーの安全性試験に対応
- 国連規則ECE-R100等、各種試験規格に対応
- 2025年2月開設予定



“次世代モビリティテストラボ(仮称)”イメージパース

## バッテリー安全認証センター 受託試験設備を拡充

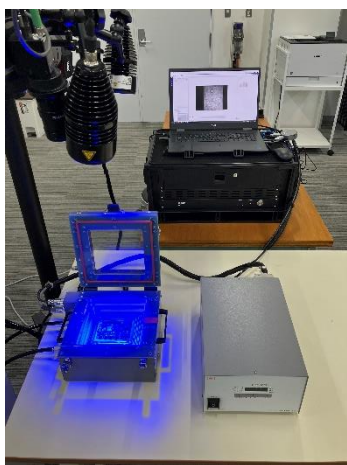
- 車載用バッテリーの安全性試験需要に対応するためバッテリー安全認証センター(栃木県宇都宮市)の試験設備を増強
- 充放電試験設備や釘刺し試験設備を20台設置



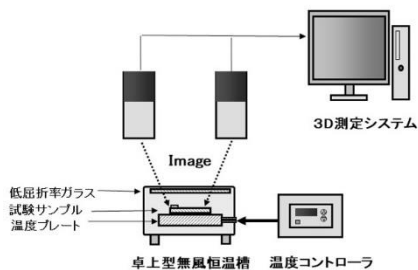
バッテリー安全認証センター  
(宇都宮テクノコンプレックス内)

## 「熱変形計測システム」 販売・計測サービス開始

- ・2024年1月、温度環境下における半導体パッケージや実装基板の反り変形を可視化する熱変形計測システムの販売・計測サービスを開始
- ・消費電力や発熱の増大による実装基板の接合不良の課題解決に貢献



熱変形計測システム



熱変形計測システム構成図

## 半導体検査装置 高発熱負荷対応 「バーンインチャンバー」拡充

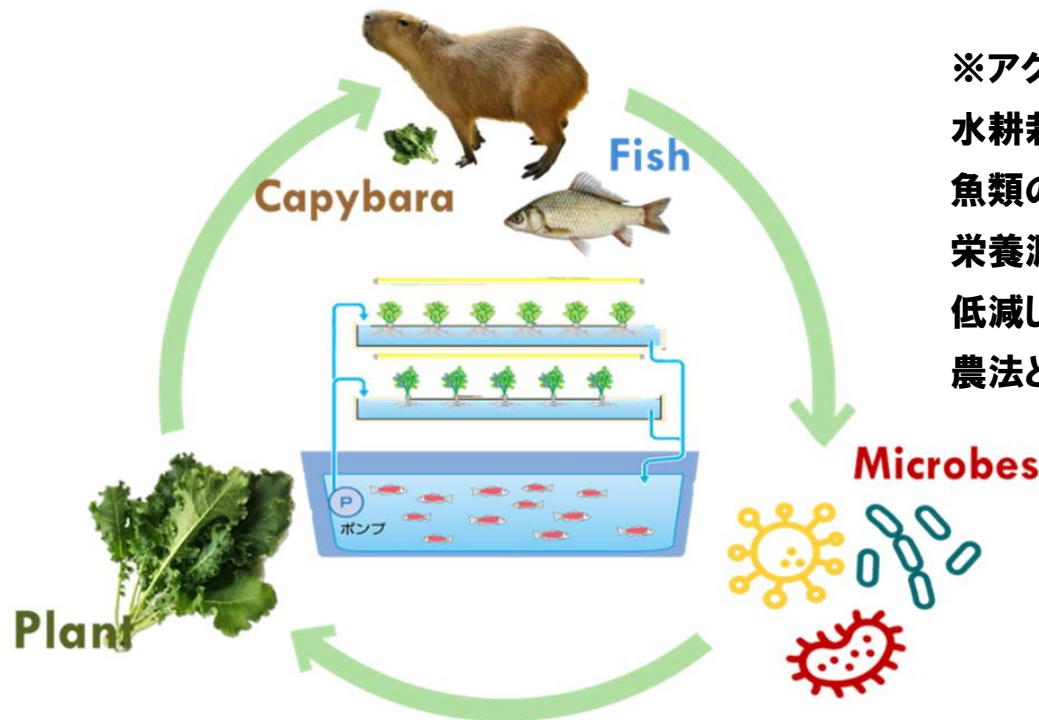
- ・2023年3月、 $-20^{\circ}\text{C}$ ～ $+150^{\circ}\text{C}$ において許容発熱量を4倍(当社従来装置比)に拡大したバーンインチャンバーを拡充
- ・半導体が高発熱状態でも精密に温度制御可能
- ・検査量を大幅に増加、検査時間短縮に貢献



高発熱負荷対応「バーンインチャンバー」

## エスペックミック 川崎水族館（カワスイ）にて アクアポニックスを活用した共同研究を開始

2023年6月、エスペックミックが川崎水族館(カワスイ)、日本大学生物資源科学部 熱帯資源作物研究室と、アクアポニックスを活用した物質循環システムの実証実験に関する共同研究を開始



※アクアポニックスとは  
水耕栽培と陸上養殖を掛け合わせたシステム。  
魚類の糞尿を微生物分解させ、野菜生育に必要な  
栄養源として活用。化学肥料を使用しない、または  
低減した野菜生産が可能。近年、環境に配慮した  
農法として注目が高まっている。

「アクアポニックスを活用した物質循環システム」イメージ図

# 社外からの評価

## ■2024年

- 2月・CDP 気候変動分野の調査で4年連続「Bスコア」、水セキュリティは「C-スコア」
- ・東洋経済新報社「2024年版CSR企業ランキング」375位

## ■2023年

- 12月・「Gomez IRサイトランキング2023」銅賞（業種別27位）
- ・「大和インターネット IR表彰2023」優良賞
- ・「2023年度全上場企業ホームページ充実度ランキング」最優秀サイト
- 11月・日本経済新聞社「第5回日経SDGs経営調査」3.5つ星
- ・日本経済新聞社「第7回日経スマートワーク経営調査」3つ星
- 10月・日刊工業新聞社（経産省後援）「第19回企業力ランキング」157位
- 8月・「Gomez ESGサイトランキング2023」優秀企業に選定
- 6月・英フィナンシャル・タイムズ、独調査会社スタティスタ  
「アジア太平洋地域気候変動リーダー企業」に初選定
- 3月・CDP「サプライヤーエンゲージメント評価」  
最高評価の「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に初選定

## ■ESG指数組入れ

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index（2022年4月初選定）



FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index



**この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。  
それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、  
当社が計画・予測したものであります。  
実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは  
異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものでは  
ございません。**

**【お問い合わせ先】**

**エスペック株式会社**

**〒530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6**

**TEL 06-6358-4744 FAX 06-6358-4795**

**e-mail ir-div@espec.jp**

**サステナビリティ推進部 部長 中川  
IR・広報グループ 大川・貝川**

---

Quality is more than a word

ESPEC